

床下冷暖房の仕組みとは、エアコンの風を床下へ送り、基礎コンクリートに蓄熱させ、家全体を暖めたり、冷やしたり出来る仕組みです。

高効率エアコンで温めた空気、冷やした空気を床下の空間へ送り込むと、同時に、ベタ基礎コンクリートを暖めたり、冷やしたりして蓄熱させて、暖房や冷房を止めても、暖かさや涼しさを保温(放射熱を利用)する事が出来る仕組みです。

床下の空間が暖まると、床材(フローリング)も暖かくなるので放射熱を利用した床暖房(放射暖房)の効果もあります。冬期間の床面付近の温度と、天井付近の温度差が、ほとんど無く床面の温度は、約20℃~23℃(エアコン温度設定24℃)と足元ポカポカで、愛犬・愛猫 達も床で寝そべってます。

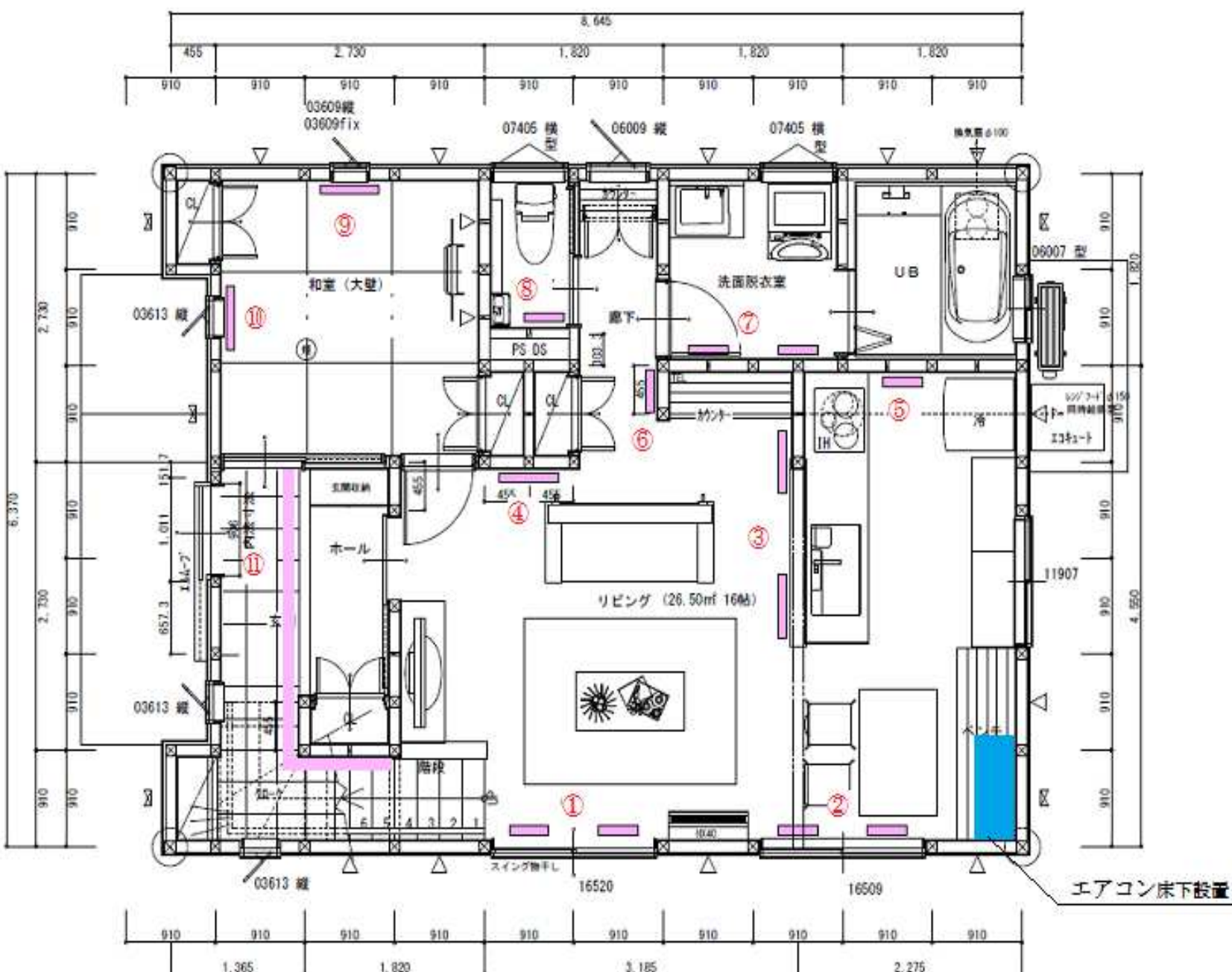
【省エネ住宅で、ペットと楽しく暮らす家♪♪♪】

エアコンの風が直接あたらないので、不快な風が気にならずお肌の乾燥防止にも効果的です。埃なども舞いにくいです。

カネヒロモデルハウスでは、一階部分は14箇所(14ヶ所)の床ガラリと玄関吹出し口から暖かい空気や冷たい空気が出てきます、蓄熱された放射熱も出てきます。

各部屋は、扉や間仕切壁で囲まれているのでエアコン一台では、扉や壁が邪魔して1階部分全体を冷暖房するのは、難しいです。床下には基礎が有りますが、構造強度とのバランスを検討して風の通り道をつくり、風が通るように上手に工夫して一階部分全体をエアコン1台で冷暖房しています。

- ※ まだまだ沢山、床下エアコンの秘密はありますが、是非一度、カネヒロハウス モデルハウスを見学にお越し下さい。
- ※ **床下エアコンの環境条件:** 高気密・高断熱住宅であること。ベタ基礎構造であること。熱交換型第一種換気であること。エアコンは高効率(寒冷地仕様)であること。



一階平面図: 52.99㎡ (16.0坪・32帖)